

島根県の「経済対策」

◆ 島根県は国の経済対策に呼応し、経済対策に迅速かつ積極的に取り組みます。

○ H21. 6月補正予算額	454億円
1 社会基盤・生活基盤の整備	129億円
2 産業振興・雇用対策	100億円
3 医療・介護・福祉の充実	164億円
4 教育文化・社会貢献活動の推進など	61億円

- ・ 6月補正予算としては、過去最大の規模
- ・ 社会基盤・生活基盤整備、産業振興・雇用対策、医療・介護・福祉の充実など様々な政策課題に対応した事業を行います。
- ・ この経済対策は、財源の大部分を国からの補助金を活用することによって、県財政にほとんど負担をかけることなく実施することができます。

◆ 経済対策予算の状況

上記の6月補正予算に、平成20年度2月補正予算及び平成21年度当初予算を加えた経済対策予算の合計は、以下のとおりです。

(単位：億円)

区 分	予算規模	事業費		基金積立額	うち、 今後活用分(*)
		事業費	基金積立額		
H20年度2月補正予算(※)	230	124	106	55	
H21年度当初予算	83	83	—	—	
H21年度6月補正予算	454	230	224	181	
計	767	437	330	236	

(※) 平成20年度2月補正予算額は、平成20年度最終補正を反映したものです。

(*) 今後活用分とは、基金に積み立てた財源を事業費に充てた残額であり、今後の経済対策の財源として活用できるものです。

○ このほか中小企業制度融資枠の拡充 200億円

(H20.2月補正予算、H21当初予算、H21.6月補正予算の合計)

1 社会基盤・生活基盤の整備	261億円
2 産業振興・雇用対策	211億円
3 医療・介護・福祉の充実	207億円
4 教育文化・社会貢献活動の推進など	88億円
合計	767億円

1 社会基盤・生活基盤の整備

(注1) 経済対策による実施予定数等は、H20.2月補正予算、H21当初予算及びH21.6月補正予算の各経済対策における予定数等の合計値です。

(注2) 予算額の表記区分

2月：H20.2月補正予算額、当初：H21当初予算額、6月：H21.6月補正予算額

● 公共事業

○ 公共事業の規模

(単位：億円、%)

区分	H20年度 6月現計 (A)	H20年度 2月補正 (経済対策) (B)	H21年度			H20.2月補正 +H20.6月 補正後 (D)=(B)+(C)	(C) / (A)	(D) / (A)
			現計	6月補正	計 (C)			
事業費	1,020	93	995	118	1,113	1,206	109.1	118.2

- ・ H21年度6月補正後の公共事業費は1,113億円となり、H20年度6月補正後と比較し**9.1%**(93億円)の増となります。
- ・ H20年度2月補正(経済対策)分を加えると1,206億円となり、**18.2%**(186億円)の増となります。
- ・ このほか、公共事業を円滑に推進するために必要な調査・設計費「公共事前調査費」(1億円)を計上しました。

○ 道路の整備

- ・ 高速道路の整備(国直轄事業)

中国横断自動車道尾道松江線が平成20年代中頃の開通に向けて整備が進むほか、山陰道についても早期の開通を目指し整備が進みます。

[H21年度中の供用予定(山陰道)]

斐川IC～出雲IC間、益田道路(遠田～久城間)、
松江道路(全線4車線化完了)

- ・ 身近な道路の整備

日常生活や産業活動を支える道路の整備を進めます。

道路の法面保護などの災害防除工事や通学路の歩道の整備など、安全・安心な道づくりを推進します。

	[経済対策予算追加予定数]	[経済対策以外の予定数]
(災害防除工事箇所数)	箇所追加 14箇所	23箇所
(歩道整備延長)	6,560m	4,275m

○ 河川改修や治山など安全な社会基盤・生活基盤の整備

- ・ 斐伊川・神戸川の治水対策（国直轄事業）
斐伊川・神戸川治水事業のうち斐伊川放水路の建設を推進し、平成20年代前半の完成を目指します。
- ・ このほか、河川の改修、治山・砂防施設や海岸保全施設の整備など、安全・安心な社会基盤・生活基盤の整備・保全を推進します。

	[経済対策予算追加予定数]	[経済対策以外の予定数]
(改修実施河川数)	増額 13河川	23河川
(砂防関係施設整備箇所数)	箇所追加 14箇所 増額 16箇所	76箇所
(海岸保全施設整備箇所数)	増額 3箇所	3箇所
(治山施設整備)	箇所追加 97箇所	104箇所

○ 西郷港ターミナルビルの改修

264百万円

6月：264百万円

西郷港の旅客ターミナルビルの待合室の拡張により、平成22年からは、夏場の混雑が緩和されます。また、土産品店スペースの拡張や観光情報コーナーの設置により利便性が高まります。

○ 石見海浜公園 アクアス・シロイルカの保護繁殖施設の整備

1,200百万円

6月：1,200百万円

バブルリングで人気のアクアスのシロイルカの繁殖用プールが平成23年に完成し、親子で泳ぐかわいいシロイルカの姿を見学することができます。

● その他の基盤整備

○ 県立学校の耐震対策・学習環境の整備

2,057百万円

2月：1,101百万円 当初：621百万円 6月：335百万円

(1) 県立学校の耐震改修

児童生徒が安心して利用できるように県立学校施設の耐震化を推進します。

[後年度実施予定校の前倒し予定数 26棟]

(2) 県立学校のバリアフリー化等の学習環境の改善

児童生徒が安心して学べる環境を整えるため、県立学校のバリアフリー化を進めるほか、老朽化した施設・設備の修繕を推進します。

[バリアフリー化の前倒し予定数 3校]

[追加修繕実施予定数 21校]

○ 県産材などを活用した交番・駐在所の整備 792百万円

2月： 270百万円 当初： 522百万円

老朽化した交番・駐在所の建替えを進めます。建替えに当たっては、地域の景観にとけ込むよう可能な限り県産の木材や石州瓦を活用し、また、来訪者用スペースを拡充することにより、「地域の安全センター」として県民の皆様が親しみを持って、訪れやすい施設とします。

[整備予定数 交番：1か所 駐在所：15か所]

○ 安全で快適な交通環境の整備 114百万円

2月： 114百万円

安全で快適な交通環境への改善を推進するため、既設道路で設置の必要性が高い箇所への交通信号機の新規整備や、西日でも視認しやすいLED型信号灯器への交換を進めます。

[経済対策予算追加予定数] [経済対策以外の予定数]

(既設道路での新規整備予定数)	5箇所	—
(LED信号灯器への交換予定数)	200灯	120灯

○ 出雲空港の利便性の向上 410百万円

2月： 120百万円

6月： 290百万円

(1) 駐車場歩道への屋根の設置（再掲：公共事業を含む）

出雲空港のターミナルビルと駐車場につながる歩道に、直射日光と雨を遮る屋根を設置することにより、出雲空港の利便性を高めます。

(2) 空港除雪用車両の整備

除雪用車両を追加整備（3台）することにより、除雪時間が大幅に短縮され、降雪時の航空機の欠航や離発着の遅れが減少します。

○ 三瓶自然館プラネタリウム等の更新整備 121百万円

6月： 121百万円

三瓶自然館サヒメルのプラネタリウム設備の更新整備により、鮮明な映像で宇宙の神秘や島根の自然を観賞することができるようになります。

2 産業振興・雇用対策

(注1) 経済対策による実施予定数等は、H20.2月補正予算、H21当初予算及びH21.6月補正予算の各経済対策における予定数等の合計値です。

(注2) 予算額の表記区分

2月：H20.2月補正予算額、当初：H21当初予算額、6月：H21.6月補正予算額

<農林水産業対策>

○ 農林水産振興がんばる地域応援総合事業 153百万円

当初： 35百万円 6月： 118百万円

競争力のある産地づくりを目指した有機野菜の生産拡大など、地域の皆さんが自ら計画し主体となって取り組む農林水産各分野のプロジェクト活動に対する助成予算や、農業生産法人等の新たな取組に対する支援予算を増額します。

[経済対策予算追加額1.5億円(経済対策以外の予算額3.3億円)]

○ 農林水産業への新規就業者の確保対策 88百万円

当初： 50百万円 6月： 38百万円

農林水産業に興味のある方や職業として就きたい方に対して、就業相談会や技術習得のための研修の実施など、円滑な就業と経営安定に向けたきめ細やかな支援を実施します。

[経済対策予算追加予定数] [経済対策以外の予定数]

(研修受入予定人数)	63人	9人
(就業支援資金貸付予定数)	16人	32人

○ 農業に参入する企業への施設整備等支援 180百万円

当初： 30百万円 6月： 150百万円

農業に参入する企業の経営の確立と発展を促し、地域の活性化や地元雇用の促進を図るため、新たに農業に参入する企業や経営拡大を行う既参入企業を対象に、機械・施設の整備に要する経費の一部を助成します。

[支援企業予定数 15企業]

○ 耕作放棄地の解消と発生防止 146百万円

6月： 146百万円

地域の農業生産活動を維持し、美しい農村景観を守るため、耕作放棄地の再生利用や発生防止に必要な基盤整備や機械整備を支援します。

[再生利用を促進するためのトラクター配置支援 18地域協議会]

○ **売れる農林水産品づくりの推進** **35百万円**

当初： 13百万円 6月： 22百万円

新商品の開発や商品改良、販路開拓・拡大を推進するため、消費者ニーズの把握や商談会等を通じた生産者とバイヤーとのマッチング、県内外での販売促進やPR活動による「売れるものづくり」や、「島根県産」統一ラベルの作成など「『しまねの魚』の普及」につながる取組を支援します。

○ **安全で美味しい島根の農林水産物の認証制度** **14百万円**

当初： 14百万円

島根の農林水産物に対して、安全性と品質に関する一定の基準を満たした安全で美味しい県産品であることを県が認証する『美味しまね認証制度』を創設し、島根県産農林水産物の市場競争力を強化します。

[7月1日現在の認証状況]

鶏卵 : 8件

こめたまご : 1件 (お米を与えたニワトリのたまご)

えごまたまご : 1件 (えごまを与えたニワトリのたまご)

生しいたけ : 1件

○ **野菜、肉用子牛価格の安定対策** **98百万円**

当初： 64百万円 6月： 34百万円

農家経営の安定を図るため、肥料や飼料の価格高騰に対して、野菜や肉用子牛の市場価格が一定水準より下回った時に、価格差等を補償・補てんします。

○ **森林整備の促進と林業の再生** **3,892百万円**

2月： 672百万円 当初： 20百万円 6月： 3,200百万円

森林の多面的機能の発揮と、林業・木材産業の活性化を図るため、間伐や路網整備、高性能林業機械の導入等の経費や、林業・木材産業関係の施設整備費、木造公共施設の整備費等の一部を助成します。

[基金の活用も含めた3年間の整備計画]

(間伐面積) 2,711ha

(路網整備延長) 167km

(高性能林業機械導入) 35台

○ ナラ枯れ被害への緊急対策 30百万円

当初： 15百万円 6月： 15百万円

ナラ枯れによる森林の荒廃を防ぐため、ナラ枯れ被害木を多く含む不採算林の伐採経費を補てんすることにより、伐採業者によるナラ枯れ被害木の伐採を促進します。

[伐採予定面積：100ha]

○ 小型漁船緊急通報システムの本格運用 8百万円

6月： 8百万円

漁業者が漁船から海上に転落した際に、転落者の位置等の情報を送信する端末機器の導入を支援することにより、海難事故を防ぎます。

[導入端末機器予定数 200台]

○ 汽水湖の水産資源回復への取組の支援 6百万円

6月： 6百万円

汽水湖の水産資源を回復し漁業環境の改善を図るため、漁業者が実施する漁場改良や種苗放流などの取組を支援します。

〈観光振興〉

○ 魅力あるしまねの観光地づくりの推進 850百万円

当初： 39百万円 6月： 811百万円

豊かな地域資源を活用した魅力ある島根の観光地づくりを推進するとともに、積極的な情報発信を図ることにより、観光客の誘客を推進します。

(1) 観光案内板等の整備

- ・ 広域観光案内板、道路案内サインの整備により、目的地までのアクセスがわかりやすくなります。
- ・ 観光地のトイレの整備など観光基盤の整備を推進します。

(2) 観光誘客活動の強化

- ・ マスメディアなどを活用し、島根ならではの観光の魅力を全国に発信します。
- ・ 航空機を利用する観光客を対象とした旅行商品の企画などを促進します。
- ・ 地域の特性を生かした観光商品づくりや人材育成など地域で行われる民間の取組を支援します。

(3) 広域観光圏の整備

- ・ 共同周遊マップ、ポータルサイトの制作や、山陰文化観光圏協議会の新事務局設置に対する支援など鳥取県との連携を推進します。

○ 隠岐観光振興のための緊急対策 18百万円

当初： 18百万円

観光情報の発信強化のためのツアーセンターの機能強化、視察の受入、宿泊施設に対する経営相談、特産品の開発、販路開拓など、他地域に比べ観光客の落ち込みの激しい隠岐地域の観光振興対策を推進します。

〈商工業対策〉

○ 「ものづくり産業」の新たな取り組みの支援 276百万円

当初： 17百万円 6月： 259百万円

(1) 地域の強みを踏まえた「ものづくり産業の支援」

- ・ 県内企業が付加価値の高い仕事を獲得できるよう、高度な金属加工設備を導入し、試作品製作などの加工や操作技術の習得などを支援します。
- ・ 浜田技術センターに食品の成分などを分析する機器を整備し、新たな商品の開発を支援します。

(2) 県外企業との新たな取引関係の構築や技術習得の支援

県外の技術力が高い企業との新たな取引関係の構築や、技術・ノウハウの習得を促進するため、県内企業が一定の期間、社員を県外企業へ派遣する際に必要な経費の一部を助成します。

[支援企業予定数：5社～10社]

(3) 機械金属製造業の受注拡大を支援

首都圏などでの受注拡大を支援するため、単独の商談会を開催します。

○ 経営支援の強化 83百万円

当初： 83百万円

- ・ 経営改善を図ろうとする中小企業者に専門家を派遣し、経営革新、新分野進出等の取組を支援します。
- ・ 商工会議所等に配置した巡回経営支援専門員が、各支援機関と連携しながら中小企業者をサポートします。

[巡回経営支援専門員配置数：9人]

○ 石州瓦の県外市場への拡大を支援 45百万円

当初： 15百万円 6月： 30百万円

石州瓦の県外市場の拡大を図るため、石州瓦工業組合や企業が展示会等へ出展する際に必要な経費の一部を助成します。

○ **I T産業の高度化とビジネス拡大の支援** **108百万円**
当初： 74百万円 6月： 34百万円

- (1) 技術力の向上
県内 I T企業の競争力を強化するため、新技術の研究開発を支援します。
- (2) 先進技術情報の発信と R u b y のビジネス利用拡大
- ・ R u b y のビジネス利用の拡大を推進するため、R u b y に関する国際的なイベントや、シンポジウムを開催します。
[国際イベント (RubyWorld Conference 2009)
開催日：H21.9.7～8 場所：くにびきメッセ (松江市)]
 - ・ 市町村等の R u b y の導入に対し助成します。
- (3) 自社開発ソフトウェアの販路開拓の支援
新たな販路開拓を促進するため、汎用性のあるソフトウェアを開発する I T企業が展示会に出展する際に必要な経費の一部を助成します。

○ **県産品の販路拡大** **35百万円**
6月： 35百万円

県産品の販路拡大を図るため、県産品カタログを発刊して全国の小売バイヤーに県産品を紹介するほか、首都圏などでの商談会への出展やw e b物産展を開催します。

○ **地域商業の再生支援** **38百万円**
当初： 38百万円

地域商業の振興や中山間地域の商業機能の維持を図るため、商業者や組織等が行うまちづくりへの取組、空店舗の活用、新規創業者の支援などの新たな仕組みづくりや人材育成の取組を支援します。

○ **地域に根ざした活力ある建設産業の経営革新促進支援** **119百万円**
当初： 119百万円

建設業者が新たな分野へ進出するための初期投資及び進出した後の事業拡張に要する経費の一部を助成する予算額を増額します。

- ・ H20年度：39百万円→H21年度：69百万円

○ 中小企業制度融資

信用保証協会の保証制度を活用し、中小企業者への低利で長期の資金提供を金融機関と協調して行います。

- ・ 平成21年度融資枠：650億円（平成20年度と比較し200億円の増）
- ・ 資金繰り円滑化支援緊急資金の取扱期間を延長（H21年度末まで）
- ・ 旅館等の改装経費などを対象とした新資金（おもてなし処整備支援資金）を創設（H21.2.2～取扱い開始）。

〈雇用対策〉

○ 国交付金等を活用し雇用を創出 13,161百万円

2月：5,830百万円 当初：3,000百万円 6月：4,331百万円

県や市町村が、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者、地域における求職者等に対して、雇用・就業機会を創出・提供する事業を実施しています。

(1) 緊急雇用創出事業

次の雇用までの短期（6月未満）の雇用・就業機会を創出します。

- ・ 雇用創出目標（H21～H23）：約4,600人（うち、H21：約1,700人）

【実施事業例】

- ・ 求職者への介護資格取得を支援し、介護人材が不足する施設等への就職を支援する事業
- ・ 人家裏や生活道等に放置された危険木化した松くい虫等被害木を伐採する事業
- ・ 竹林の伐採、森林の下草刈りなどの森林を整備する事業
- ・ 社会福祉施設等の居住空間を改善するための修繕事業

(2) ふるさと雇用再生特別交付金事業

地域における継続的（1年以上）な雇用機会を創出します。

- ・ 雇用創出目標（H21～H23）：約800人（うち、H21：約280人）

【実施事業例】

- ・ 出雲空港に観光案内人を配置する事業
- ・ 地域資源を活かした農家レストランの運営を支援する事業
- ・ 田舎ツーリズム体制を整備・強化する事業

○ 離職者の再就職に向けた職業訓練提供 213百万円

2月：9百万円 当初：204百万円

ハローワークでの求職者が、円滑に就職できるよう介護やIT、簿記会計など、仕事に必要な知識・技能を習得する職業訓練が受けられるよう支援します。

[受入予定受講者数：650名]

○ **企業の人材育成と雇用継続を支援**

36百万円

6月： 36百万円

各高等技術校が雇用調整助成金等を活用できる教育訓練を提供し、企業による人材育成と雇用の継続を支援します。

[教育訓練受講予定者数：延べ30,000人程度]

○ **若年無業者の職業的自立支援**

9百万円

当初： 9百万円

ニート等の若年無業者の職業的な自立や、社会参加への促進を図るため、「しまね若者サポートステーション」を設置し、就業に向けた相談から基礎的訓練までを包括的に支援します。

3 医療・介護・福祉の充実

(注1) 経済対策による実施予定数等は、H20.2月補正予算、H21当初予算及びH21.6月補正予算の各経済対策における予定数等の合計値です。

(注2) 予算額の表記区分

2月：H20.2月補正予算額、当初：H21当初予算額、6月：H21.6月補正予算額

○ しまねのがん対策の強化

303百万円

6月： 303百万円

(1) がん対策募金事業への支援

がん医療水準の早期向上を図るため、県民や企業の皆様から寄附を募り、がんの診断や治療のための高度医療機器を整備することを目指している「がん対策募金（財団法人島根難病研究所）」に対して県からも支援します。

- ・募金目標額：7億円
- ・H21年度末の募金総額（見込）：4.5億円
- ・県からの支援：2億円

(2) 全国がんサロン交流会開催への支援

県内にはがん患者や家族の方が交流したり、相談支援を行う「がんサロン」が開設されています。この度、サロン発祥の地である島根県において、がん対策への県民の皆様の理解を広げるため、全国交流会が開催されることとなり、県はこれを支援します。

(3) 浜田医療センターのPET-CT整備への支援

がん治療をはじめとした県西部の中核的病院としての機能の充実を図るため、成人病予防センターの機能を合わせもつ浜田医療センターが導入するがんの発見に効果的なPET-CTの整備を支援します。

○ 重症難病患者の在宅療養の支援

5百万円

6月： 5百万円

- ・ALS等の神経難病患者のコミュニケーション手段の確保を図るため、貸出用意思伝達装置を整備します。
- ・在宅療養において必要となるたん吸引の技術を習得するための研修機材を整備します。

[整備予定数]

- ・意思伝達装置： 5台
- ・研修機材： 4台

○ **社会福祉施設等の安全・安心な整備** **1, 743百万円**

当初： 287百万円 6月：1,456百万円

入居者が安全・安心に生活できるよう障害者施設、救護施設、児童養護施設などの社会福祉施設等の耐震化、スプリンクラー整備などを促進します。

[施設耐震化予定数：8施設]

[スプリンクラー設置予定数：28施設]

○ **障害者の自立支援** **2, 003百万円**

2月：1,086百万円 当初： 357百万円 6月： 560百万円

(一部の事業は雇用対策事業として実施しています)

(1) **事業者の運営安定化の支援**

障害者の自立支援に適したサービスへ円滑に移行するため、障害者福祉サービス事業者が実施する施設・設備の改善などを支援します。

(2) **障害者の地域における自立支援**

福祉施設で働く障害者の工賃向上を図るための事業者の取組を支援します。

[各種支援員等の配置・派遣予定数]

(障害者雇用促進支援員) 14名程度

(工賃向上アドバイザー) 2名程度

(販路開拓・営業活動強化のための支援員) 40名程度

○ **視聴覚障害者への良質な情報の提供** **3百万円**

6月： 3百万円

視聴覚障害者が良質な情報提供を受けられるよう、点字図書館や視聴覚障害者情報提供施設の図書制作機器やIT関係機器を整備します。

○ **介護拠点の整備の推進** **6, 976百万円**

6月：6,976百万円

- ・ 介護ニーズに対応するため、特別養護老人ホームの整備を促進します。

[整備予定数：484床]

- ・ 入居者が安全・安心に生活できるようスプリンクラーの設置を支援します。

[整備予定数：109施設]

- ・ 入居者の居住環境改善のため、軽費老人ホームのバリアフリー化を進める改築を支援します。

○ 福祉・介護分野における人材確保・定着の推進 5, 675百万円

2月： 467百万円 当初： 40百万円 6月：5,168百万円
(一部の事業は雇用対策事業として実施しています)

(1) 介護福祉士等の人材確保

介護福祉士・社会福祉士養成施設の入学者に対し学費等の修学資金を支援します。

[貸付予定人数] 90人程度

[貸付限度額] 月額50千円、入学準備金200千円、就職準備金200千円

(2) 人材の確保・定着のための福祉・介護職員の処遇改善の促進

- ・ 福祉・介護サービスの提供が充実するよう人材確保と求職者の就職・定着促進のために、福祉・介護職員の賃金の引上げ等の処遇改善に取り組む事業者を支援します。

(3) 求職者と介護職場とのマッチングの推進

- ・ 求職者の介護職員資格取得の支援と併せて、社会福祉協議会に緊急的に雇用の場を確保します(再掲：雇用対策)。

[雇用予定人数] 100人程度

- ・ 県福祉人材センターにキャリア支援専門員を配置し円滑な就労を支援します。

○ 子育て支援対策 2, 324百万円

2月： 757百万円 当初： 241百万円 6月：1,326百万円

(1) 安心こども基金を活用した施設整備や生活支援

- ・ 待機児童の解消など子育て環境の改善を図るため保育所や放課後児童クラブの整備や改修等を促進します。
- ・ 母子家庭の自立が図られるよう、就業に必要な技能や資格取得の支援を拡充します。

(2) 子育てする方々を地域みんなの力で支援

- ・ 子育て中の方が気軽に参加、交流することができる場である「子育てサロン」活動の充実を図ります。
- ・ スーパーや商店などで、乳幼児連れの人が自由に利用できるトイレや授乳コーナー等の整備を促進します。

[整備支援予定数：100か所]

(3) 特定不妊治療費の助成拡大

特定不妊治療(体外受精・顕微授精)費に係る経済的負担の軽減を図るため、助成額の上限を引き上げます。

[助成額：1回あたり10万円→15万円]

○ 妊婦健康診査の支援 6 1 4 百万円

2月： 429百万円 当初： 185百万円

妊婦が費用負担を心配せずに必要な回数（14回程度）の妊婦健康診査を受けることができるよう必要な経費に対する公費負担を充実します。

○ 自殺防止のための総合対策 1 5 3 百万円

6月： 153百万円

自殺予防シンポジウムの開催や自殺予防のための広報啓発、電話相談員の増員を図るための研修事業を実施し、自殺予防対策を強化します。

○ 就職活動中の離職者のための臨時特例的なつなぎ資金の貸付け

9 百万円

6月： 9百万円

就職活動中の離職者が、生活保護など公的支援が受けられるまでの間に必要な当面の生活費の貸付けを実施します。

[貸付限度額：上限10万円]

○ 新型インフルエンザ対策 7 0 4 百万円

当初： 369百万円 6月： 335百万円

抗インフルエンザ薬の追加備蓄、発熱外来を設置する医療機関への支援、ウイルス検査に必要な機器等の整備など新型インフルエンザに対応した医療体制の整備を推進します。

[H21年度末備蓄予定数量：県人口に対して45%(*)相当の数量を確保]

(*)45%：国が備蓄の目標としている数値(国備蓄分・流通分を含む)

4 教育文化・社会貢献活動の推進など

(注1) 経済対策による実施予定数等は、H20.2月補正予算、H21当初予算及びH21.6月補正予算の各経済対策における予定数等の合計値です。

(注2) 予算額の表記区分

2月：H20.2月補正予算額、当初：H21当初予算額、6月：H21.6月補正予算額

〈教育文化・社会貢献活動の推進〉

○ 子どもの読書活動を推進するための学校図書館の環境整備

13百万円

6月： 13百万円

- ・ 小・中学校における読書活動の推進や学校図書館の効果的な活用を図るため、専門家からのアドバイスによる書架などの環境整備を推進します。
- ・ 読書活動の優秀な実践を行う学校を表彰します。

[環境整備：推進校15校を指定]

[表彰：優秀校6校を採択予定]

○ スポーツ競技力の強化や普及活動の促進

147百万円

6月： 147百万円

国体選手及びジュニア層などの競技力強化や生涯スポーツの振興を図るため、競技団体が実施する県外遠征や競技用備品の整備、総合型地域スポーツクラブが実施する普及活動を支援します。

○ 子どもたちの「ふるさと体験」の充実

20百万円

6月： 20百万円

子どもたちが生活圏域を越えて出雲・石見・隠岐地域を訪れ、他地域の自然、歴史、文化を広く学び、「ふるさと島根」を体感する東西交流や体験学習を実施します。

[参加予定数：東・西部の圏域から各100名]

[参加予定数 計750名]

出雲・石見地域 (H21～H23) 100名/回 (各1回/年 計6回)

隠岐地域 (H22) 150名/回 (1回)

○ 私立学校の就学環境等の整備支援

170百万円

2月： 100百万円

6月： 70百万円

(1) 特色ある学校づくりへの支援

私立学校が取り組む「特色のある授業」や「部活動」に必要な教材の充実、楽器の購入、体育館・グラウンド・部室等の整備を促進します。

[経済対策による整備学校数：35校・園]

(2) 校舎・体育館の耐震化

児童・生徒が安心安全な学校生活を送ることができるよう私立学校の校舎・体育館の耐震化工事を促進します。

○ 県民による社会貢献活動拡大のための支援 **102百万円**

6月： 102百万円

小規模なボランティア活動の活性化に向けて、社会貢献活動に積極的に取り組む団体の活動経費の一部を助成します。また、県民の参加機会の促進を図るため、活動内容を県ホームページで紹介します。

[助成予定]

・助成額：1団体あたり上限15万円 ・助成団体数：約200団体／年程度

○ 男女共同参画の推進 **35百万円**

6月： 35百万円

男女共同参画社会についての理解がさらに広がるよう、働く方や学生の方などを対象としたライフプラン作成応援セミナーなどの具体的で参加しやすい研修会等を開催します。

○ 地域活性化のための芸術文化の連携 **77百万円**

6月： 77百万円

県民が身近に県内外の美術品等を鑑賞できる機会を提供するため、県内外の文化施設の連携による相互の所蔵品の展覧会やそれに伴う文化イベントを開催します。

<安全安心確保対策>

○ 消費者問題に対する体制の強化 **190百万円**

2月： 150百万円 当初： 40百万円

高度化・複雑化している消費者問題に対応するため、相談窓口の開設や相談員等のレベルアップなどを図り、多重債務など多様な消費者問題について安心して相談できるよう体制整備を進めます。

○ 事件・事故への迅速な対応のための通信指令システムの高度化

206百万円

6月： 206百万円

110番通報を受理する通信指令室とパトカーとの間の指令システムを、画像などが送信できるように高度化することにより、的確な事件・事故の解決を図ります。

- 震度情報ネットワークシステムの再整備 288百万円
6月：288百万円

県内各地に設置してある震度計の適正配置や機器の更新を行います。

〈環境対策〉

- 地域の環境保全の推進 1,138百万円
6月：1,138百万円

地域の環境問題を解決するための事業を促進します。

〈主な事業〉

- (1) 地球温暖化対策のための公共施設等の省エネ改修や省エネ設備の導入
- (2) 不法投棄・散乱ごみ等の処理の推進
- (3) 海岸へ漂着したごみ等の回収・処理 など

〈地域活性化〉

- 県産木材を活かした住まいづくりの支援 290百万円
当初：64百万円 6月：226百万円

県産木材を使用した木造住宅の新築や増改築、商店等の修繕に対して経費の一部を助成します。

[助成額] (新築・購入) 上限：30万円 (+石州瓦使用) 10万円を加算
(増・改築) 上限：15万円 (+石州瓦使用) 5万円を加算
(修繕) 定額：住宅 10万円、商店・社会福祉施設 20万円
[助成予定件数：450件/年程度]

- 石州瓦を使ったリフォームの促進 229百万円
当初：76百万円 6月：153百万円

石州瓦を用いた増改築に対して経費の一部を助成します。

[助成額] 上限：10万円
[助成予定件数：1000件/年程度]

- しまね長寿の住まいリフォーム助成 126百万円
6月：126百万円

住宅内の段差解消や手すり設置などバリアフリー化するためのリフォーム工事に対して経費の一部を助成します。

[助成額] 工事費の23% (上限40万円)
[助成予定件数：100件/年程度]

- 県出身学生に対するUターン就職の支援 1 百万円
当初： 1百万円

Uターン就職希望学生の県内就職を推進するため、県出身学生の自己PR情報と県内企業の採用情報を相互に交換できる環境を提供します。

- 隠岐地域でのガソリン等の流通合理化 1 8 百万円
2月： 9百万円 6月： 9百万円

隠岐地区のガソリン等の安定供給や輸送コスト縮減を図るため、昨年6月のガソリン等の混油事故以降に稼働が停止している隠岐の島町内の油槽所の改修・再稼働や、島前地域のガソリンスタンドの地下タンク整備を支援します。

- 隠岐航路のサービス向上のための整備支援 1 4 百万円
当初： 14百万円

フェリー船内で観光情報が視聴できるようになるなど、隠岐航路のフェリー及びフェリーターミナルの環境改善事業を支援します。

◆ 今後に活用するための財源の確保、予算の平準化

- 景気に一部明るい兆しが見られるものの、先行きは不透明であり、今回の景気後退はある程度長く続く可能性があります。

このため、経済対策で実施する事業も、短期間に多額の事業費を支出するのではなく、平準化して、ある程度継続的に行えるようにする必要があります。

このような考え方から、次の基金を設置又は積み増ししました。

(1) 国の補助金等による基金

介護、雇用、森林整備などの分野において、国から相当規模の基金積立目的の国庫補助金等が交付されます。この国庫補助金等により基金を設置又は積み増し、今後3年間程度の事業実施のための財源に充てることとしました。

	今後活用額
中山間地域等活性化基金	24.0億円
緊急雇用創出事業臨時特例基金	37.2億円
ふるさと雇用再生特別基金	27.1億円
障害者自立支援対策臨時特例基金	21.4億円
社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金	13.8億円
介護職員処遇改善等臨時特例基金	25.6億円
介護基盤緊急整備等臨時特例基金	35.7億円
安心こども基金	9.0億円
妊婦健康診査支援基金	2.3億円
地域自殺対策緊急強化基金	0.7億円
消費者行政活性化基金	1.1億円
しまね環境基金	8.6億円
計	206.5億円

(2) 地域活性化・経済対策調整基金

単独事業に幅広く使える「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」(103億円)のうち、29億円を基金に積み立てて、今年度の補正予算を含めた経済対策の財源として活用することとしました。

地域活性化・生活対策臨時基金を改正して積増し

(3) 外部団体への基金造成

一定の事業については、その事業を行うに適切な外部団体に基金を積み立て、継続的に事業を行えるようにしました。

・事業数：9事業

・総額：11.6億円

[例]	県産材利活用助成事業（島根県木材協会）	1.9億円	
	観光立県しまね推進事業（島根県観光連盟）	3.6億円	など